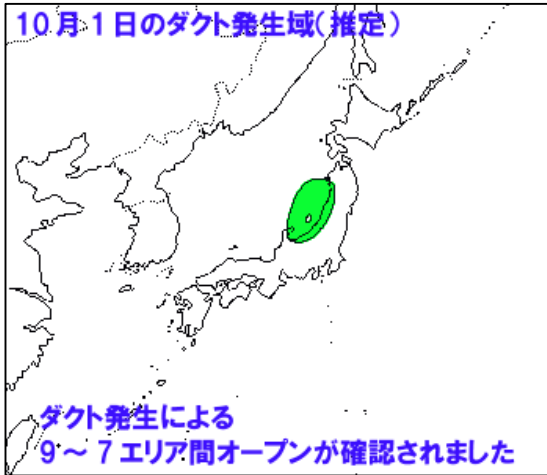


# 前線通過直前、高気圧に覆われダクト発生！

2004年10月1日 JG0TEV 中村

日本付近を寒冷前線が通過する直前の高気圧に覆われた暖かい日に、ダクトが発生しオープンが確認されました。

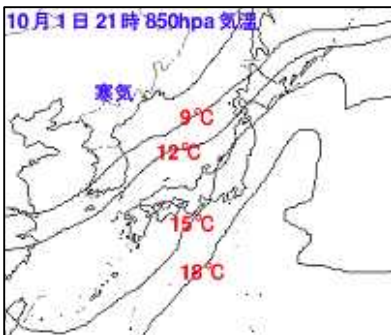
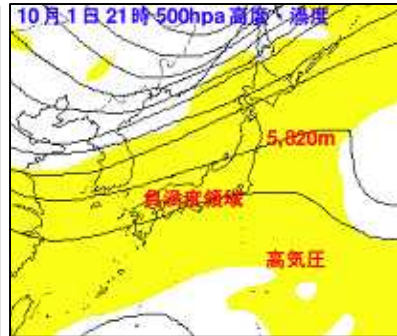
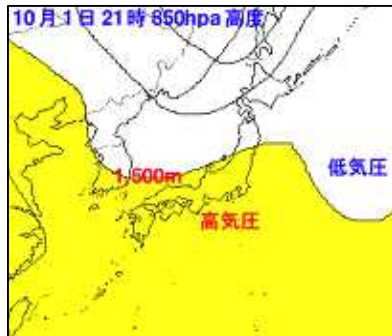
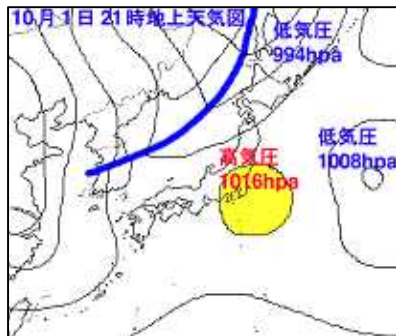


ダクト発生による9~7エリア間オープンが確認されました  
21:32 JO7IZC(秋田・由利郡)-JG0TEV/0(新潟・三島郡)  
RS59-59 FM

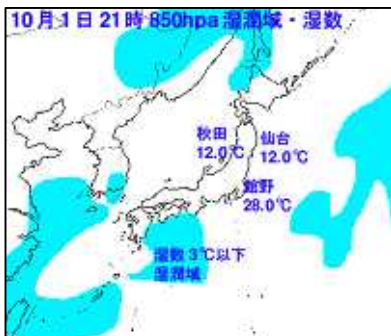
## 気象解析

地上天気図では樺太付近から日本海を経て朝鮮半島にかけて寒冷前線が解析されている。  
日本付近は前線の全面に位置して南よりの風が流れ込みやすくなっている。  
850hpa面では、1,500mの等高線は本州中部を横切っていて、東日本にはリッジが解析されている。  
500hpa面によると、5,820mの等高線は本州中部を横切っていて、日本付近は負渦度領域に覆われている。

以上から、本州付近は高気圧に覆われていたと解析できます。



850hpa面の気温分布を見ると、12 の等温線は対馬海峡から津軽海峡にのびていて、本州付近には南から暖かい空気が流れ込んでいることがわかる。



850hpa湿数をみると、東北地方を中心に乾燥空気の流れ込みがわかる。

以上から、東北地方を中心にダクト発生条件がそろいやすい状態であったと解析します。